



～安心・安全な水をカンボジア全土へ～ カンボジア・プルサット市

作成：上下水道局海外事業課

発行日：令和3年3月26日



北九州市上下水道局は、20年以上にわたりカンボジアへの技術協力を続けており、首都プノンペンを皮切りに、現在ではカンボジア全土にわたり技術協力を行っています。そして、**各都市の水道拡張事業への協力は、カンボジア政府との覚書に基づき、計画的に進められています。**

カンボジア水道開発マスタープラン対象の9都市



2011年、北九州市水道局と、カンボジアの水道行政を所管する鉦工業エネルギー省(いずれも当時)は、「カンボジア都市水道開発に関する覚書」を取り交わし、**カンボジア主要9都市(左図参照)の水道開発マスタープラン作成**を行いました。

その後、**9都市の水道開発に関連する全ての事業に北九州市は深く関与**しており、2021年現在、6都市でプロジェクトが完了し、1都市(コンボト)で工事が進められています。残りの2都市(プルサット・スパイリエン)についても、現在、プロジェクト遂行のための準備が進んでいます。

現在、プロジェクト準備が大詰めを迎えているのが、プノンペンの北西に位置する、人口約10万人の**プルサット市**です。プルサット市は、タイーカンボジアーベトナムを結ぶインドシナ半島南部経済回廊の拠点都市であり、交通の中継地、農業都市として発展しています。しかしながら、水道インフラの整備は不十分で、**水道普及率が38%**(2015年時点)に留まっています。



都市部でも路地を入ると、水道がなく、水がめを利用している民家も少なくありません。

プルサット市の上水道インフラの拡張に関して、2019年12月にJICAとカンボジア政府間での無償資金協力に関する贈与契約が締結されました。現在は上水道施設の拡張工事に向けて、詳細設計を行っています。



既存のプルサット市の浄水場

工事が完了し、供用開始されると、プルサット市都市部の**水道普及率が約87%に向上**する予定です。北九州市は、**詳細設計への技術的な助言や、関係機関との調整、施工監理、施設の運転管理指導**などを担当します。



新浄水場完成イメージ

マスタープランの残りの1都市であるスパイリエン市も準備調査を進めており、プロジェクトの具体化を目指しています。

北九州市は、カンボジアの「**2025年までに都市部水道普及率100%**」という国家目標に対して協力を行い、カンボジア国民の生活の質向上に寄与していきます。